



上/「富士レークホテル」の客室風呂に設置された座シャワー 下/「なにわ一水」のバリアフリールームにある露天風呂は、眺望抜群。防水型シャワーキャリーなので、乗ったまま入浴できる

すりやスロープなどのハード面だけでなく、スタッフの「心」もバリアフリーなところばかり。良質なお湯、美しい景観、おいしい料理……。つまり、同行する家族も一緒に旅を楽しめる宿です。

まず10年以上にわたって、バリアフリー対応の先進的な取り組みをしてきた、東西の横綱級の宿を。東の代表と呼ぶにふさわしいのが、河口湖温泉(山梨県)の「富士レークホテル」。部屋から必ず富士山か河口湖、どちらかの絶景を望むことができる老舗ホテルです。

全74室ある客室のうち、23室がバリアフリールーム。座ったまま温泉のシャワーを浴びることができる「座シャワー」が設置された部屋をはじめ、バリアフリールームだけで7種類のタイプがあります。このホテルで人気なのは、河口湖を見渡せる広いラグジュアリーな雰囲気湯船に、入浴介助リフトが付いた「レークビュー貸切風呂」。浴槽の横まで車いすですでつけ、リフトに乗り換えれば、そのまま入浴できます。食事はアレルギー対応のほかに、一口大・さざみ食・極さざみ食・ペーリスト食・おかゆまで、さまざまなアレンジが可能。旅先で体調を崩しがちな高齢者の対応にも慣れており、経験知に基づいたきめ細かいサービスが受けられる、ハイレベルな宿と言えるでしょう。

対する西の代表は、松江しんじ湖温泉(高根県)の「なにわ一水」です。全従業員が、さまざまな障がいや学習障害、理解する「あいさポーター」。バリアフリールームは2室ですが、この宿の魅力は、それが機能面での充実だけにとどまらないところ。観光ができない人にも非日常や旅の情緒を感じてもらえるよう、建物のおもろちに日本建築を意識した意匠が施されているのです。特に素晴らしいのは、寝室のベッドに横になったまま、猪目を模したハート形の障子越しに夫道湖を眺められる、露天風呂付きの和洋室「20号室」。社長が、病氣療養中に経験した病室の味気なさから思いついたそう、目の前に広がる夫道湖はまさに絶景です。

「富士レークホテル」の客室風呂に設置された座シャワー 下/「なにわ一水」のバリアフリールームにある露天風呂は、眺望抜群。防水型シャワーキャリーなので、乗ったまま入浴できる

「なにわ一水」のバリアフリールームは、全国でも珍しいバリアフリーな温泉街・嬉野温泉(佐賀県)にあり、取り組みが徹底しています。利用者が電話をする

河口湖を一望できる「富士レークホテル」のレークビュー貸切風呂。入口から浴室、トイレに至るまで段差がない。左側にあるのが入浴リフト



家族水いらずの旅を諦めないで

体が不自由でも楽しめるバリアフリーな温泉宿、教えます

案内人◎山崎まゆみ 温泉エッセイスト
構成◎上田恵子

湯 けむりが待ち遠しい季節の到来。でも読者の中には「介護が必要な家族がいるから、しばらく温泉は無理だわ」という方もいるかもしれません。ご安心を。バリアフリーに対応した宿は、こんなにあるんです。

経験知に基づいたきめ細かいサービス

私はこれまで、日本にとどまらない1000カ所以上の温泉取材を重ねてきました。その中で、誰もが安心して宿泊できるバリアフリーに対応した温泉宿が、国内に意外と数多くあることに気づいたのです。足腰が弱っている高齢の人、介護が必要な人とそのご家族、病氣やケガの回復期を過ごしている人……。温泉での癒やしを一番必要としている人が、せつかくの機会を逃してしまふのは、残念なことです。

私は事故で要介護となった妹を、6年ほど前に亡くしました。当時は国内の温泉宿に妹を連れていくことなど、最初から諦めていたんですね。今となつては悔いが残りますが、私のように「宿の迷惑になるだろう」と遠慮している方は多いのではないのでしょうか。

今回、私が薦める6つの宿は、手

富士レークホテル

河口湖温泉
泉質◎ナトリウム、カルシウム、硫酸塩泉



座シャワー付きの客室風呂は、河口湖温泉の引き湯だ。部屋の窓からは富士山を拝める

バリアフリールーム / 23室
宿泊料金 / 2万4840円～

山梨県富士河口湖町船津1
☎0120・72・2209

なにわー水

松江しんじ湖温泉
泉質◎ナトリウム、カルシウム一塩化物、硫酸塩泉



201号室の客室。もう一方のバリアフリールームはユニットバスだが温泉の給湯が可能

バリアフリールーム / 2室
宿泊料金 / 2万3220円～

島根県松江市千鳥町63
☎0852・21・4132

千湯樓

嬉野温泉
泉質◎メタケイ酸



フルフラットな部屋のトイレの入口は2つ。和室からも洋室からも車いすで出入りできる

バリアフリールーム / 1室
宿泊料金 / 2万2140円～

佐賀県嬉野市嬉野町大字岩屋川内
乙2117-1 ☎0954・42・1195

山崎まゆみさんが薦める宿6選

花とおもてなしの宿 松園

嬉野温泉
泉質◎低張性弱アルカリ性泉、ナトリウム塩化物炭酸水素泉



客室風呂の洗い場は畳敷き。宿の名前のとおり、窓からは四季折々の花が楽しめる

バリアフリールーム / 2室
宿泊料金 / 1万5300円～

佐賀県嬉野市嬉野町下宿乙855-2
☎0954・43・0153

ひだホテルプラザ

飛騨高山温泉
泉質◎ナトリウム一塩化物温泉



県内でもまだ少ないオストメイト対応のトイレを完備した特別和洋室が2室ある

バリアフリールーム / 9室
宿泊料金 / 2万1600円～

岐阜県高山市花岡町2-60
☎0577・33・4600

観音温泉

奥下田観音温泉
泉質◎アルカリ性単純泉



客室風呂、大浴場ともに源泉かけ流し100%。温泉水を使った化粧品類も開発している

バリアフリールーム / 38室
宿泊料金 / 2万2680円～

静岡県下田市横川11092-1
☎0120・01・9994

*宿泊料金は1泊2食付、2名で宿泊した際の大人1名の金額です。消費税・サービス料込み、入湯税を別とした表記を基本としていますが、例外もありますので、詳細は宿にご確認ください。季節や曜日によっても料金は変動します

*貸切風呂や福祉備品等のレンタル、食事のアレンジ等は、事前に予約が必要です。別途料金がかかることもあります

どちらの宿も、最大の魅力は女将の温かい人柄に触れられること。バリアフリーツアーセンターと相談しながら利用すると、快適な旅ができると思いますよ。

ほかにも飛騨高山温泉(岐阜県)には、障がい者施設の団体客も積極的に受け入れる大型温泉ホテル「ひだホテルプラザ」があります。高山市も福祉観光都市となるべく、2003年より街をあげてバリアフリー化に取り組みできました。

館内外の至るところにゆるやかなスロープを設け、地下の和風大浴場「浮世風呂」は浴場まで車いすのまま入れる構造。廊下、脱衣所、洗い場にも畳が敷かれています。

北アルプスの峰々と高山の街並みが広がる眺望は見事ですし、もちろん車いすで入れる食事処では名物の飛騨牛が味わえる。まさに、滞在するだけで家族みんなが満足できる宿と言えるでしょう。

温泉通に愛されてきた名湯にも、バリアフリー対応が行き届いた宿があります。奥下田観音温泉の「観音温泉(静岡県)です。3本の自家源泉から湧き出る湯量豊富なアルカリ性単純泉はやわらかく、飲んでもおいしいことで知られています。

大浴場「ガラティオ」の露天風呂には、ゆるやかなスロープと手すり



上/「観音温泉」の絶品釜飯 下/ベースト食などにアレンジした食事を注文することも可能(写真は「富士レークホテル」のもの)

がついていきますので、入れる方にはぜひ大自然の中でお湯を、そして温泉で炊いた名物の釜飯や海の幸、山の幸を堪能していただきたいですね。

バリアフリールームから埋まってくる宿も

50万坪に及ぶ広大な「観音温泉」ですが、実は客室の7割がバリアフリールーム。これまで取材やプライベートで何度も訪れてきたのに、そのことに私が気づいたのは、ほんの数年前のことでした。ほかの宿もそうですが、バリアフリーに対応していることを大きく謳っているところは、まだ少ないんです。

今回私は、わかりやすく「バリアフリールーム」と統一して表現しましたが、「ユニバーサルルーム」「ファミリールーム」「特別室」など、宿によってその呼び名はさまざまです。こうした部屋は一般的な客室より

いくらいです。それだけに、旅行の予定が決まったら、早めに部屋を押さえることをお勧めします。

そして、体の不自由な家族と旅行する時は、予約時から宿と綿密にコミュニケーションをとることが大切です。特に普段同居していないと、体の状態を正確に把握できていないこともあるでしょう。食事はどんなメニューがいいのか、薬はどれくらい飲んでいいのか、トイレやお風呂はどうしているのかなど、あらかじめ確認しておくことが大切です。具体的なチェックポイントを挙げておきますので、ぜひ参考にしてください。

- 車いすを使用しているか
- 少しの距離でも車いすが必要か
- 部屋の中の移動に車いすが必要か
- どのような食事をとっているか
- アレルギイはあるか
- 入浴介助が必要か

- 福祉備品の用意で入浴が可能か
- トイレの介助は必要か
- トイレ介助は同行者で可能か
- 視覚・聴覚障がいがあるか
- ヘルパーさんの用意が必要か

最後にもうひとつ、バリアフリールームを利用することはいまでも、たとえば乳がんなどの経験者の中には術後の傷が気になって、大浴場への入浴をためらう方がいらっしゃると思います。私も、一昨年に受けた手術で腹部に大きな傷が残りました。そんな状況がわかるようになり、その気持ちがわかるようになりました。そんな女性の悩みに向き合っているのが、「ピンクリボンのお宿」ネットワークです。全国で13軒の宿が加盟。貸切風呂が無料で利用できたり、傷を隠せる入浴着のレンタルや販売をしていたりと、サービス内容は宿によって多岐にわたります。

このように体の状態や悩みは、人によってさまざまです。宿に確認してみたら、難しいだろうと心配していたことが解決することもありますが、まずはお目当ての宿に問い合わせせてみてください。バリアフリーな温泉旅は、そこから始まります。

やまざきまゆみ 新潟県生まれ。温泉での幸せな一期一会をテーマに、取材を続けている。「だから混浴はやめられない」「バリアフリー温泉で家族旅行(正統)など著書多数